2025 年 2 月 28 日

F ホールディングス株式会社向け
「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2024 年 12 月 25 日(水)、F ホールディングス株式会社（代表取締役社長 大村 剛史郎）およびフジフーズ株式会社（代表取締役社長 武藤 与志巳）に対する「ポジティブインパクト評価」をもとに、F ホールディングス株式会社に「ポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

■ポジティブインパクトファイナンスについて

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、ＳＤＧｓの達成を目指す融資手法です。

当行が実施する「ポジティブインパクト評価」は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同して行い、事業者さまのＫＰＩ（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見※1 を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ（ＵＮＥＰ ＦＩ）※2 の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

※1　ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。（https://www.jcr.co.jp/greenfinance/）
※2　国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

■F ホールディングス株式会社およびフジフーズ株式会社について

F ホールディングス株式会社は、食品部門の開発・製造を担うフジフーズ株式会社、原材料の調達などを手掛ける株式会社エフ・リンク・コーポレーション、商品仕分けと輸送納品を行う株式会社デイリートランスポートの持ち株会社として 2014 年に設立されました。

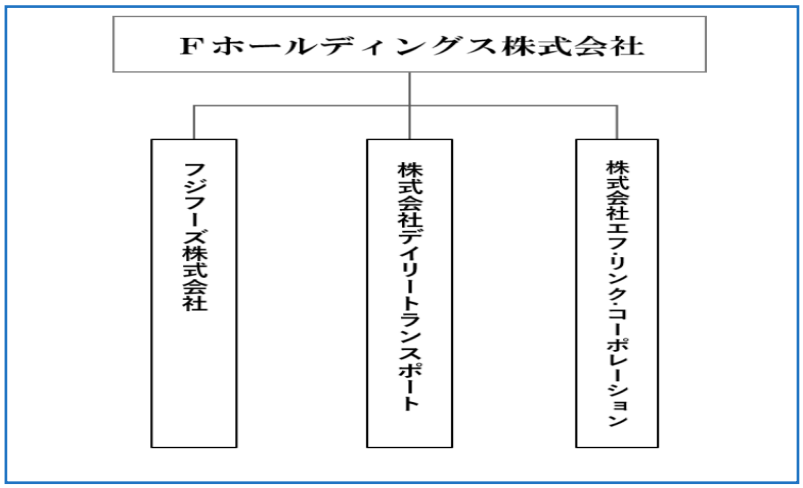
フジフーズ株式会社は、1963 年の設立以来安全で質の高い持続可能な食に誰もが十分にアクセスできることを目指して、商品開発・製造・品質の各部門が連携し事業を拡大しています。本ローンで設定するＫＰＩは、えるぼし認定・くるみん認定の取得、時間外労働時間削減、「ＦＳＳＣ２２０００」※3 の維持、ｅラーニング・研修環境の充実、ＣＯ２排出量の削減、食品廃棄物排出量の削減、さらにこれらの社会面と環境面の取り組みを通じて企業価値向上を図ることを目指しています。

今回、ポジティブインパクト評価を実施したことで、今後の資金調達をポジティブインパクトファイナンスとして組成することが可能となりました。今後も、サステナブルファイナンスでの資金調達を増やすことで、ＳＤＧｓへの取り組みをより強化していく方針です。

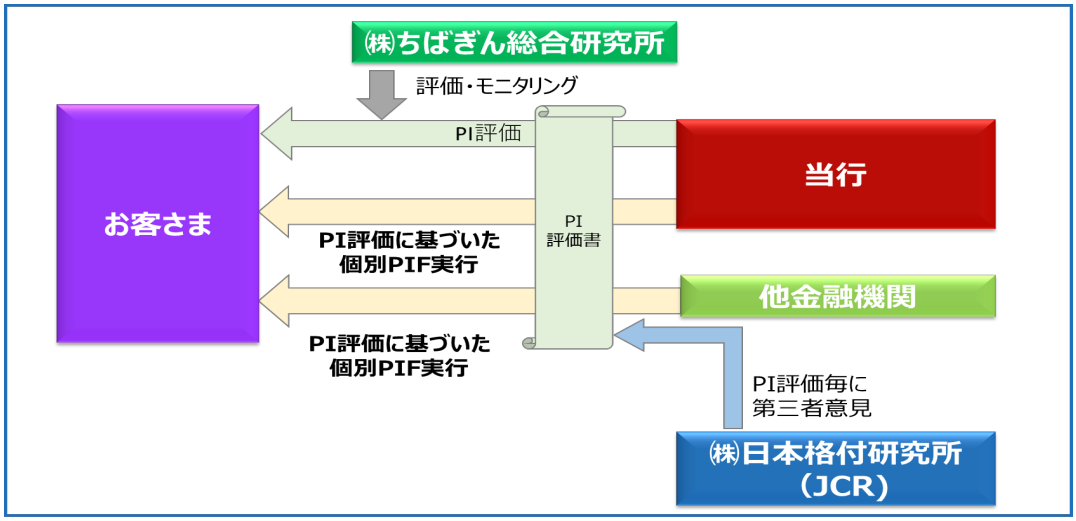
※3　Food Safety System Certification22000 の略で、安全な食べ物を製造するための「食品安全システム認証」のこと。

（別　紙　１）

＜グループ相関図＞



＜スキーム図＞



【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融資対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、ＳＤＧｓの達成に向けて活動する法人
資金使途	運転資金または設備資金（特定の資金使途に限定しません）
融資金額	100 百万円以上
融資利率	当行所定利率
融資期間	原則、3 年以上
ＫＰＩ（目標）	ＳＤＧｓ達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてＫＰＩを設定していただきます。 （１）１つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 （２）潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

（別　紙　２）

【F ホールディングス株式会社向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸　　出　　先		F ホールディングス株式会社	
契　約　締　結　日		2024 年 12 月 25 日（水）	
融　　資　　形　　態		証書貸付	
融資金額（使途）		500 百万円（運転資金）	
融　　資　　期　　間		7 年	
評価内容	領　　域 （テーマ）	取組内容およびＫＰＩ（目標）	関連するＳＤＧｓ
	社　　会 （健康及び安全性、資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質、生計、平等と正義）	・2031 年 3 月末までに、3 社（F ホールディングス、フジフーズ、エフ・リンク・コーポレーション）の社員における平均の時間外労働時間を月間 25 時間未満とする（2023 年度実績：31 時間/月） ・ゼロ災を目指し、2023 年度を基準として、労働災害（休業 4 日以上）の発生を対前年度比で減少させる ・フジフーズの秋田工場と茨城工場において取得している「FSSC22000」を維持する ・2025 年度までに e ラーニングシステムを導入する ・2030 年度までに、全社員が年 1 回以上、研修を受講する環境を整備する ・社員向け新規/リニューアル研修プログラムを毎年 1 項目以上実施する ・時給制従業員向け研修を 2025 年度より開始し、受講者数を増加させる ・フジフーズにおいて 2029 年 3 月末までにえるぼし認定、くるみん認定を取得する	
	自 然 環 境 （気候の安定性、サーキュラリティ）	・フジフーズにおいて 2026 年 3 月末までに CO2 排出量の削減に向けたロードマップを策定する ・フジフーズにおいて 2026 年 3 月末までに食品廃棄物排出量の削減と食品リサイクルの促進に向けたロードマップを策定する	

そ　　の　　他	上記ＫＰＩについては千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年１回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。